

蔵王(春～夏)

やまがた自然散策ガイドマップ



山形市環境部環境課

〒990-8540
山形市旅籠町二丁目3番25号
TEL: 023-641-1212 FAX: 023-624-9928

蔵王で見られる動植物



＜ザオウアザミ＞

蔵王の亜高山帯アオモリトドマツ林の日当たりの良い草地に多いアザミで、1999年9月国立科学博物館報で門田裕一博士が発表し、ザオウアザミの名前が付きしました。蔵王山の固有種です。(花期8月～9月)



＜ブナ＞

蔵王では垂直分布が素晴らしく、山地帯・ブナ帯・亜高山帯(アオモリトドマツの針葉樹林帯)・高山帯と分かれています。蔵王のブナ帯は二次林が多いのですが、自然林も一部で残っています。

全体が黄色で斑点だらけに見えます。低山帯の広葉樹林帯に生息して繁殖します。落葉をひっくり返してミミズを好んで食べ、ヒョー ヒョーと口笛のような声で鳴きます。(留鳥・漂鳥)



＜トラツグミ＞



＜サンショウクイ＞

夏鳥として渡来し、低い山地や山麓の落葉広葉樹林に生息しています。ゆるい波形で飛びながら、ヒーヒーヒー ヒーヒーヒーとさえざります。(絶滅危惧Ⅱ類 夏鳥)

蔵王で見られる動植物



＜ホシガラス＞

頭部と翼を除く体全体は、暗褐色の地に白い斑点が沢山並んでいます。亜高山帯の針葉樹林帯に生息し、ガーガと鳴き、木の実に昆虫などを食べます。(留鳥)



＜クロサンショウウオ＞

早春、池沼や雪解け水の水溜りなどに、乳白色の繭型で「水繭」と呼ぶ卵囊を1対産みます。成体は、夏は林道などの側溝の湿った落葉下などに見られます。トウホクサンショウウオと生息域が重なります。



＜イモリ＞

生息域が大変広くて、乾燥にも強く、真夏にからからに乾いた落葉下などでも見られます。目玉沼一帯では、モリアオガエルの孵化期に水底が見えなくなるほど集まっていることがあります。